

日本私立大学団体連合会・日本私立短期大学協会主催

東日本大震災の被災地におけるシンポジウム 2013

〔共催:いわて高等教育コンソーシアム〕

〔開催要項〕

【開催趣旨】

東日本大震災は、多くの尊い命を奪い、その生活基盤たる街や村をも破壊つくしました。この震災から2年余りが経過し、復旧・復興作業は、現在、国を挙げての喫緊の課題として推進されていますが、未だ多くの今日的課題をも提起しています。被災地の一日も早い復旧を願うとともに、被災地の総合的な復興が21世紀の日本の再生モデルとなり、誇りある日本人の歴史に足跡を留めるよう、強く念願し、期待するものです。

全国各地に展開する多様で多層の活力ある私立大学・私立短期大学並びに大学関係者は復興に係る情報を共有し、復興後の日本のあり方について考え、大学の支援の取組みを一層強固なものとして参らなければなりません。

このような基本認識に立って、平成23年度の宮城県仙台市、平成24年度の福島県郡山市におけるシンポジウムに続き、このたび下記により岩手県盛岡市において、このシンポジウムを「いわて高等教育コンソーシアム」との共催で開催いたします。

日 時 平成25年8月7日(水) 13時～16時30分

会 場 岩手大学 工学部テクノホール
所在地:盛岡市上田三丁目18番8号

参加対象 どなたでもご参加いただけます。
主催団体に加盟する大学・短期大学の関係者をはじめ、いわて高等教育コンソーシアム関係者、教育関係者、地域在住の方々など広く一般市民の皆様。

参加費 無料

申込期限 平成25年7月31日(水)

I. 開催テーマ

東日本大震災を超えて:大学のなすべきこと、できること
—教育の復興なくして地域の復興と国の再生なし—

II. プログラム・スケジュール(予定)

13:00～13:03 (3) 開会あいさつ

大沼 淳(日本私立大学団体連合会副会長、文化学園大学理事長・学長)

13:03～13:15 (12) 主催者あいさつ

清家 篤(日本私立大学団体連合会会長、慶應義塾長)

- 13:15～13:30 (15) 来賓あいさつ
小松親次郎 氏 (文部科学省高等教育局私学部長)
達増 拓也 氏 (岩手県知事)
谷藤 裕明 氏 (盛岡市長)
- 13:30～14:15 (45) 基調講演
「震災地岩手からの発信
—いわて高等教育コンソーシアムの取組み」(仮題)
藤井 克己 氏 (岩手大学学長)
- 14:15～14:30 (15) 休 憩
- 14:30～16:10 (100) シンポジウム
「東北被災大学におけるこの2年の取組みと地域貢献
—被災学生支援、被災大学支援を風化させないために」(仮題)
コーディネータ: 佐藤 弘毅 (日本私立短期大学協会会長、目白大学短期大学部学長)
シンポジスト: 中村 慶久 氏 (岩手県立大学学長)
眞瀬 智彦 氏 (岩手医科大学 災害医学講座教授)
藤原 隆男 氏 (富士大学学長)
徳田 元 氏 (盛岡大学学長)
藤田 成隆 氏 (八戸工業大学学長)
- 16:10～16:20 (10) フロアーとの意見交換
- 16:20～16:27 (7) 決意表明
納谷 廣美 (日本私立大学団体連合会副会長、明治大学学事顧問)
- 16:27～16:30 (3) 閉会あいさつ
大沼 淳 (日本私立大学団体連合会副会長、文化学園大学理事長・学長)

Ⅲ. 参加申し込み方法

別紙「参加申込書」をFAXにて日本私立短期大学協会事務局宛にお送りください。

FAX : 03-3263-6950

参加申込期限 : 平成25年7月31日 (水)

Ⅳ. お問い合わせ先

日本私立短期大学協会 事務局 (担当: 本間、石橋)

電話 : 03-3261-9055 FAX : 03-3263-6950

V. 会場案内

岩手大学 工学部テクノホール

所在地：岩手県盛岡市上田三丁目18番8号

【交通機関・会場案内図】

- ◆盛岡駅からバス利用（盛岡駅前バスターミナル11番のりば）
 - ・岩手県交通バス上田線（乗車：松園バスターミナル行き 下車：上田四丁目）
 - ・岩手県交通バス桜台団地線（乗車：桜台団地行き 下車：工学部東口）
- ◆タクシー利用 盛岡駅から約2km 約10分（岩手大学工学部正門下車）

